

米国経済・株式市場情報

ハリケーン後の米国経済と7-9月期決算の見通し

- 17年8月末から9月にかけて大型ハリケーンが米国を直撃する中でも、足元の経済指標は米国経済の底堅さを示唆。
- 9月の製造業・非製造業景気指数は04～05年以来の高水準に上昇。新車販売は買い替え需要が押し上げ。
- 好調な経済指標から米国株は史上最高値を更新。製造業景気指数が底を打った15年末頃から上昇相場が続く。
- 今後の市場の注目は7-9月期の米企業決算の動向に。経済活動の好調が企業業績を押し上げると期待される。

ハリケーン襲来後も米国経済は底堅さを維持

2017年8月末から9月にかけて大型ハリケーン（ハービー、イルマ）が米国を直撃しましたが、足元の経済指標は米国経済が底堅さを維持していることを示唆しています。

米供給管理協会（ISM）が公表した9月の製造業景気指数は2004年5月以来の高水準（60.8）へ上昇し、非製造業の景気指数も2005年8月以来の高水準（59.8）となりました（図1上）。大型ハリケーンによる被害の影響から、製品納期の遅れや原材料価格の上昇はみられたものの、生産活動や受注、雇用などは改善基調が維持されました。

また、9月の米新車販売台数は前年比6.1%増の152.4万台と、市場予想（0.4%増）を大きく上回る結果となりました。大型ハリケーンの洪水被害による自動車の買い替え需要が販売の押し上げ要因となったとみられています。

経済指標好調に支えられ米国株は最高値を更新

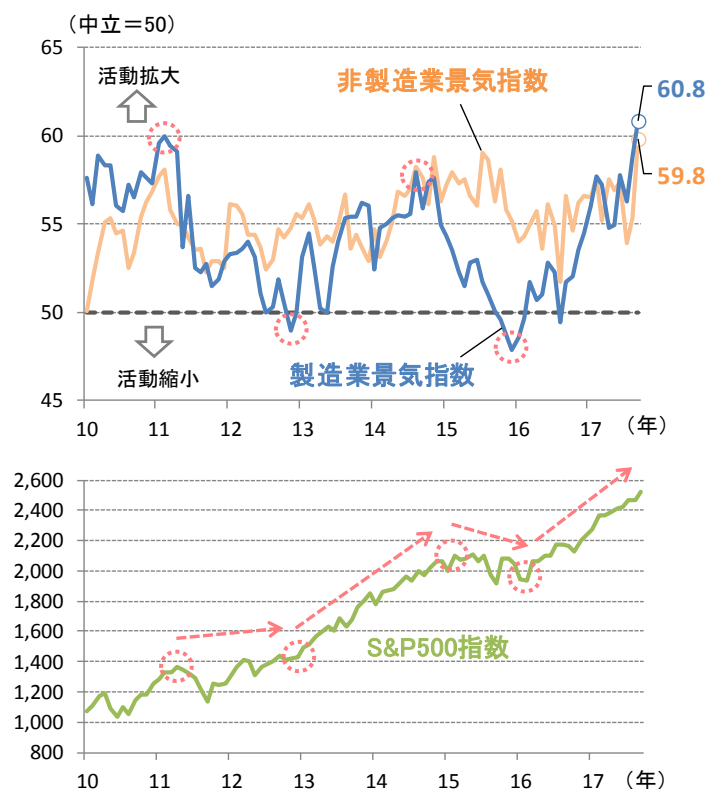
好調な経済指標に支えられ、米国株（S&P500指数）は史上最高値を更新しています（図1下）。米国の景気サイクルと米国株の関係を見ると、製造業景気指数が底を打った2015年末頃から米国株の上昇相場が継続しています。

7-9月期の米企業決算の出だしは堅調

今後の市場の注目は2017年7-9月期の米企業決算の動向に集まりそうです。10月4日時点でS&P500指数採用銘柄のうち21社が7-9月期決算を公表する中、18社（約86%）の一株当たり利益が市場予想を上回るなど、決算発表の出だしは堅調となっています。

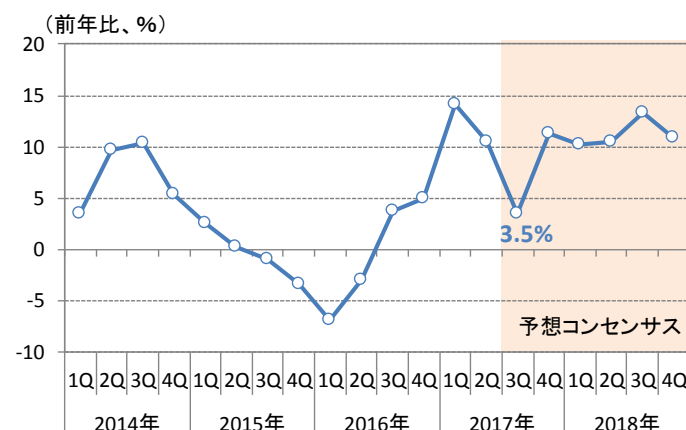
ファクトセットのコンセンサス集計によれば、2017年7-9月期のS&P500指数の一株当たり利益は前年比+3.5%増と予想されています（図2）。7-9月期は二桁増益となった上半期から増益率の鈍化が見込まれるものの、経済活動の好調が業績押し上げ要因になると期待されます。

図1：米製造業・非製造業景気指数とS&P500指数



(出所) 米供給管理協会（ISM）、ブルームバーグ
(期間) 2010年1月～2017年9月

図2：S&P500指数の一株当たり利益（EPS）伸び率



(出所) ファクトセット (注) 予想は2017年9月29日時点
(期間) 2014年第1四半期～2018年第4四半期（四半期）

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的としてレグ・メイソン・アセット・マネジメントの情報を基に、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。